

令和五年度 前田夕暮生誕百四十周年記念・第三十六回夕暮祭短歌大会入賞歌

秦野市長賞

(敬称略)

この日だけ言う事聞かぬ牛の足出荷見送る畜産生徒

神奈川県相模原市

加藤 典彦

前田夕暮生誕百四十周年記念特別賞

数式の下で息する落書きは笑わぬ獣名前はまだない

神奈川県座間市

磯田 有季

秦野市教育委員会教育長賞

軒下で皺を重ねた大根が教えてくれる太陽の味

神奈川県秦野市

杉本 学

秦野短歌会会長賞

シヨートヘアも似合うのわたし旧友は重き病を押しして微笑む

東京都練馬区

芦川 美栄子

山田吉郎選者賞

振り下ろすラケットしなる車椅子ターンに踊るポニーテールが

兵庫県加東市

前田 信夫

寺尾登志子選者賞

二百五十段怖気づく君おいてつて二段先登る五風十雨

神奈川県秦野市

三留 心音

佳作

退職の後事を託し去り際に暮色に沈む山の名を問ふ

茨城県那珂郡東海村

五十嵐 裕治

君の名が私の中で季語になり呼び止めるたび春の嵐だ

兵庫県西宮市

乾 将之介

初講義ポニーテールを高く結い春風の道ずんずん進む

神奈川県川崎市

江口 晴香

人なれば絆創膏をはるてあてそがれし地表に草萌えやさし

神奈川県秦野市

大島 初江

始業式緊張あふれる登り坂ギア上げて春風を切る

岐阜県加茂郡川辺町

小田 憩

幸せを反故にしたから針千本飲ますんだから生き返ってよ

宮崎県宮崎市

川平 陽子

人の目に映らぬ風の道をゆく蝶は己のリズムを持ちて

神奈川県横浜市

黒瀬 真弓

とある日にキャンプに行った僕たちは蛇に出会って泣き叫ぶんだ

神奈川県秦野市

小嶋 樹

雨降りて水たまりよけ花を踏むつま先だけはワルツのようで

埼玉県川越市

小林 あゆ

夕焼けに手を当ててみるじんわりと我的心も茜に染まる

神奈川県秦野市

椎野 小夏

春風にせかされ押しゆく車椅子「歩いてみようか かあさん 少し」

神奈川県厚木市

篠崎 俊二

自分よりはるかに上手い先輩の背中 of ゼッケン輝いて見える

神奈川県秦野市

関口 捺月

病棟を点滴棒連れ闊歩する窓外の春追い越してゆく

三重県四日市市

土屋 恵理

湖が生れ早や百年峰坂に眠った子らにそつとささやく

神奈川県秦野市

戸口 あや子

新調の地下足袋履きてのぼりゆく地籍調査の杭を背負ひて

高知県須崎市

徳永 逸夫

空白の多き日記を読み継ぎて若かりし母の青葉にふれる

鳥取県東伯郡琴浦町

中本 久美子

こゑ持たぬ万の椿がこの年も照り陰りつつ三・一一

宮城県仙台市

畠山 昭二

四階は空の始まり管楽器響いて私新しくなる

山口県周南市

藤井 琴子

あの子待つ下駄箱目指し駆け降りる階段の音小さく踊る

千葉県千葉市

來村 尚紀

慣例の卒業ノック受くる時初めて正ユニフォーム着たる子もあり

埼玉県鴻巣市

渡邊 照夫